



**ANNUAL
REPORT
2023**
みどりのトラストNo.107

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

2023年度 (2023.4 - 2024.3) 事業報告



日頃より、大阪みどりのトラスト協会の事業にご理解・ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。この度、2023年度事業報告「ANNUAL REPORT2023」(みどりのトラスト107号)を発行しましたので、お手元にお届けいたします。

2023年度は、2020年から続いたコロナ禍から解放され、自然環境保全事業、緑の募金事業ともに、以前のように人が集まり、人と人が直接関わるイベントや街頭募金などの活動が復活しました。とくに、和泉葛城山ブナ林では、国の天然記念物指定から100周年を迎え、シンポジウムやハイキング、植樹会などの記念行事を企画し、たくさんの方々にご参加いただきました。また、当協会の主要な活動地である三草山ゼフィルスの森、地黄湿地が位置する能勢町およびその周辺地域では、自然環境保全活動を行っている他の団体との交流を深め、地域の生物多様性の保全に向けた連携づくりに取り組みました。緑の募金を活用した緑づくりや森林環境教育などの活動についても、行動制限のない環境で、充実した取り組みを実施することができました。

2024年度は、2023年度の活動を引き継ぎつつ、新たな取り組みとして、三草山ゼフィルスの森、地黄湿地において深刻化するニホンジカの下層植生の過剰採食への対策のために、保全地を取り囲む大規模な防鹿柵の設置を進めます。また、当協会の関係する保全地が「自然共生サイト」(「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域)の認定を受けるための準備を進めてまいります。

当協会は、2023年度を初年度とする今期中期経営計画(2023~2025年度)において、新たな基本方針として「大阪の生物多様性保全への貢献」と「持続的な事業展開に向けた取り組みの拡大」の2つを掲げています。引き続き、大阪府域に残された貴重な野生生物の生息する自然環境の保全、他団体と連携した府内各地の里山の生物多様性の保全を進めるほか、「緑の募金」による学校や市街地の緑化推進事業、みどりの未来を担う子どもたちの育成などの事業を推進してまいります。今後も変わらぬ皆さま方のご支援をお願いいたします。

2024年7月

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会
会長 石井 実



里山で展開する物語

大阪府森林組合代表理事組合長 大阪みどりのトラスト協会評議員 栗本 修滋 2

自然環境保全事業 7

和泉葛城山ブナ林保全事業	8
三草山ゼフィルスの森保全事業	10
地黄湿地保全事業	12
CSR等支援事業	14
地域連携推進事業	15
府内自然環境保全活動支援事業(大阪里山ネットワーク)	16
大阪さともり地域協議会の運営	17
自然環境保全地域支援事業(社寺林)	18

緑の募金事業 19

緑の募金 収入・支出について	20
緑の募金運動推進事業	21
緑化推進・森林の整備事業	
・緑化推進事業等交付金 ・堺第7-3区「共生の森づくり」の推進 ・生駒山系花屏風活動支援事業	22
・緑の少年団活動支援事業	23
・緑化推進運営協議会の運営	24

森林環境教育・森林ESD 普及啓発 その他 25

森林環境教育・森林ESDの推進事業	
・みどりづくりの輪活動支援事業	26
・「学校に森林と木の香りを」整備事業 ・専門家相談費用助成制度	27
・平和の緑づくり事業	28
・教育大学学生向け講習の企画・運営等 ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール	29
普及啓発事業	31
会議開催状況	32
資料	33

ご支援・ご協力 36



里山で展開する物語

栗本 修滋

大阪府森林組合代表理事組合長 大阪みどりのトラスト協会評議員

自己紹介にかえて

私は山の植物を見ながら歩くことが好きである。山の植物をゆっくり見てしまうので歩みは遅くなる。歩いていると山の土が心の疲れを吸い取ってくれるようで、心地よい。私は半世紀以上、山で植物調査の仕事をしている。ドイツの社会学者ウェーバーなら「職業としての植生調査」と言うかもしれないが、仕事として植生調査をする場合は、職業人の性として、少しでも多くの植物種を確認しようと努力し、植物種のリストに貴重種を含めたいと思う。仕事として植生を調査しているけれども、仕事の次の日には植物を見たくなる。知らない人々と会話を続けると疲れるので、親しい友人と会話をしてリラックスしたくなるのに似ているかもしれない。

4月は特に心弾む。草木が花を咲かせ始めるからである。ヤマドリソウやミヤマカタバミに久しぶりに会いたいと思って北摂の溪流を歩くことにした。気にか

けていた植物に会うと、お互い元気でよかったと思う。谷道を登っていると、スポットライトを浴びたようにクリンソウが生えていた。こんなところでクリンソウに出会えるなんて、大発見と喜びながら少し先まで行くと、スギ林の平らな湿地に畑の野菜のように整然と生えていた。そこから峠を越えて反対斜面に降りると、イチリンソウが咲いていた。毎年歩いているがイチリンソウの花に出会えたのは数年ぶりである。金剛山には多く生えているが北摂の山でイチリンソウの生えている場所は多くない。ある場所では盗掘で全滅したと聞いている。鹿の食害だけでなく、人が消滅させている群落も多い。



ヤマドリソウ

活動の記録

北摂の山でクリンソウ群落を見たので、気になって「大阪府植物誌」（堀勝、大阪府植物誌刊行会：1962年）と「大阪府植物目録」（桑島正二、近畿植物同好会：1990年）で当時のクリンソウの自生地を確認した。どちらも金剛山しか記載されていなかった。私が見た群落は、どこかに生えていたクリンソウを移植し増殖させたのかもしれないし、その場で発見したクリンソウを増殖させたのかもしれない。私は植物を移植して育てることを必ずしも否定はしない。茨木市のキツネノカミソリの自生地が一時期壊滅状態になったように、私たちの生活様式の変容や獣害などでこれからも消滅の危機にある群落は多い。なので、キツネノカミソリの復元活動や初谷川でクマガイソウを



クリンソウ

増殖させているような活動は意義があると思う。

沼田真（日本の生態学者、1917-2001）は「自然保護という思想」（岩波新書：1994年）の中で、「日本人は自然愛好国民か」と疑問を呈し、「日本人は原生的な自然はむしろ苦手で、手なずけてペット化した自然により愛着を覚えるように思えてならない」と述べている。しかし、私は、手なずけてペット化したいから山でボランティア活動をしているのではなく、人も自然の一員として活動をしていると思っている。人がペットを家族の一員として生活しているのと同じである。沼田の言説はペットにも失礼だと思う。

人々はこれからも美しい花や貴重とされる植物を移植し増殖させるだろう。ボランティアの人は貴重な植物の保護のために水路を確保し草を刈るなど、自然に手を加えておられる。（公財）大阪みどりのトラスト協会が運営する情報サイト「大阪里山ネットワーク」には、大阪府内の里山で活動するボランティアグループが登録されていて、ホームページを見ればそれぞれの活動内容がわかる。植物の移植によって、将来世代の人々が自然の自生地か人為的な群落かと混乱しないよう

に、登録していないボランティアグループも含めて、活動内容を記録として残してほしいと思う。活動の記録は日本人と自然の関係史の中で、将来の人々に最も誇っていい時代であることを証明するはずだ。それは大阪みどりのトラスト協会の歴史でもある。

科学と文化について

私たちが身近に見ているヤブツバキの北限は青森県東津軽郡平内町とされていて、その地のヤブツバキ林は大正時代に天然記念物に指定されている。ヤブツバキの植物学的北限説に対して、民俗学者の柳田国男は「椿は春の木」(1928年)で天然記念物というより、史跡記念物ではないかと論じている。暖かい時代のヤブツバキがたまたまその地に残ったとの説明は腑に落ちないそうだ。南に住む人々が北に移住するとき、椿の種や枝を持って行ったのではないかと推論している。椿の葉から雪がバサッと滑り落ち、太陽が葉を艶やかに照らす、その葉の隙間から赤い花が見える春の風景を当地の人々は大切にしてきたと、柳田は考えていたのだろう。平内町の椿山には椿神社があっ



早春のヤブツバキ

て、椿に関する悲恋物語も伝わっている。東北地方に点在する椿崎や椿山には必ず神が祭られていたそうだ。柳田は「人間の心もひきくるめての天然がなくなるのが心配」とも述べている。つまり、平内町の椿山が人為的行為によって形成されたと主張しているのではなく、北限を理由とする学術的な価値の強調によって、地域の人々の心に宿っている物語が失われることを心配しているのだ。

北限に対して、和泉葛城山の山頂に分布しているブナ林は南限に近いとして天然記念物に指定されている。沼田真は日本人が原生的な自然は苦手と述べているが、私は好きか嫌いの範疇ではなく、そのことを超えた聖なる存在として原生的自然を大切にしてきたと考えている。「和泉葛城山のブナ林は八大竜王の社寺林として伐採を禁じられていたために残った」



和泉葛城山ブナ林

と岸和田市のホームページに記載されている。私は地元の方々にお聞きしたことはないが、禁じられていたから残ったのではなく、修験道の山として、地域の人々とかかわりの中で、地域の総意として禁伐にしたのだと思っている。柳田が指摘しているように、地域の人々が残そうとした思いをもっと評価すべきと思う。別の言葉を借りるなら、地域文化も含めて評価してほしいと思う。ブナ林では、和泉葛城山ブナ愛樹クラブが活動していて、そのホームページのササユリやヤマウグイスカグラ、エイザンスミレなどの花が美しい。

里山の物語

茨木市郊外のニュータウン彩都に接して鉢伏山がある。標高は 299m と低いが、

頂上に立つと大阪湾までさえぎるものがない。山は山裾の粟生岩阪集落の共有林で、集落の自治会が管理している。1999年から2012年調査の環境省植生図によれば、鉢伏山はモチツツジアカマツ群集が大半を占め、ヒノキ群落の一部を成している。自治会は松枯れ跡地にヒノキを植栽し、棚田の水源涵養機能を維持しようとした。その後、自治会の人々はヒノキ林の下刈り、除伐、間伐の作業を共同で実施してきた。

鉢伏山はニュータウン彩都の住民にも人気の場所となり、眺望を維持するための草刈りなどのお手伝いをしてくれる人も増えて、2010年にボランティア団体（鉢伏山森づくりの会）が組織された。しかし残念なことに、2018年の台風で、一部の森が壊滅的な被害を受けた。岩阪自治会や鉢伏山森づくりの会では、被害を受



鉢伏山眺望

けた森の復旧に努めたが、自力では困難と判断し大阪府森林組合に依頼することを決めた。幸いなことに、費用は大阪の企業が負担してくれることになった。企業は資金提供だけでなく、風倒被害地に桜苗を植える作業に職員を動員するなど、積極的に関わっている。私も縁あって鉢伏山の植物を会社の方々と観察した。クロモジを嗅いで、和菓子のにおいがすると素直な感想を述べている人もいて、楽しい一日だった。観察のルートにはササユリが生えていたので、ボランティアの方々の草刈りの成果と説明することもできた。

鉢伏山では水源涵養機能や快適環境の維持だけでなく、その維持活動を通して積極的に貴重な植物を保護している。その逆に、貴重な生物を保護することを目的とした里山活動を通して、里山を快適



ササユリ

な空間にしようと努力するグループも多い。快適な空間は地理的・生物的な場としてだけでなく、人間関係も含めた共同性発揮の場でもある。その活動の記録によって、里山に新しい文化と物語が創生される。将来世代の柳田国男のような人がその物語を読み解いた山に、豊かな生態系が形成されていることを想像したい。



栗本 修滋 くりもと しゅうじ

【略歴】

- 現在 大阪府森林組合代表理事組合長
大阪大学大学院工学研究科 招へい教授
- 職歴 高槻市職員、技術士事務所経営、大阪大学大学院特任教授など
資格など 技術士森林部門など、博士(社会学)
- その他 大阪みどりのトラスト協会評議員、大阪府森林審議会委員



自然環境保全事業

大阪府は面積約1,900平方キロメートル。全国で2番目に小さい都道府県ながら、人口は全国で3番目に多く、約880万人が暮らしています。府内の土地の多くは、住宅地や商工業用地として利用されていますが、山や農地、川から海にいたる多様な環境には、8,700種を超える多くの生物がすみ、それらはお互いにつながりあいながら生きています。

自然環境保全事業では、大阪府を代表する自然環境である「和泉葛城山ブナ林(岸和田市・貝塚市)」、「三草山ゼフィルスの森(能勢町)」、「地黄湿地(能勢町)」の保全活動を推進するとともに、府内の自然環境保全団体のネットワーク構築やCSR活動の支援などの事業を通して、大阪の自然環境・生物多様性の保全に取り組んでいます。





ブナ林は日本の冷温帯を代表する森林です。「和泉葛城山ブナ林」は、太平洋側の、標高800メートル前後の比較的高度の低い位置に分布しており、ブナ分布の南限圏に近い場所でこのようなブナ林が存続することに大きな価値があるとして、1923(大正12)年に国の天然記念物に指定されました。

和泉葛城山ブナ林では、大径木の枯死が進み、稚樹が極端に少ないうえに近年の種子生産状況も思わしくないなど、長期的に見てブナ林としての存続が危ぶまれる状況にあります。

そのため、「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画(2021年度～2030年度)」(和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会)に基づき、コアゾーン(国指定天然記念物区域)、

バッファゾーン(緩衝地帯)での各種調査や森林保全活動を実施するとともに、ナラ枯れへの対応等を行っています。

2023(令和5)年度は、国の天然記念物指定100周年記念として、シンポジウム、ハイキング、記念植樹などを開催し、ブナ林を紹介するリーフレットを作成しました。

【2023(令和5)年度の主な事業実績】

(1) 計画検討・調査等

- ・ 保護増殖検討委員会、ワーキンググループ会議の開催
- ・ 天然下種更新モニタリング調査、花芽・結実調査、花がら・種子調査、生育環境調査、哺乳類モニタリング調査、ドローンを活用したブナの開花状況調査・ナラ枯れ被害状況調査の実施
- ・ 植栽ブナの生育状況調査、個体番号札の付け替え、立木位置の記録
- ・ 「和泉葛城山におけるシカ対策について」と「イヌブナの種子調査」をテーマとした研究交流会の開催

(2) 保全活動等(保全活動参加目標人数610人／実績618人)

- ・ ナラ枯れへの対応として、被害を受けて枯死した木から媒介虫が拡散することを抑制するビニールシート巻き施工
- ・ 和泉葛城山ブナ愛樹クラブによるブナ若木の育成・森林保全等活動の支援
- ・ 地元の方による巡回
- ・ 看板、案内板、解説板等の更新・新設に向けた現況調査

(3) PR活動等

- ・ 「国天然記念物指定100周年記念シンポジウム～和泉葛城山ブナ林 これまでの100年 これからの100年～」(8/26、大阪市立自然史博物館)を開催。YouTubeで動画を公開中(<https://youtu.be/MpfJ5zDpcto>)



実生個体のモニタリング調査



森林整備作業



シンポジウム



- ・和泉葛城山ブナ林を紹介するリーフレットを作成。4,000部を印刷し、イベント(シンポジウム、自然史フェスティバル等)で配布。貝塚市立自然遊学館、きしわだ自然資料館、行政関係等に配架
- ・「ブナ林ハイキング」開催(10/21)
- ・国天然記念物指定100周年記念植樹会を、地元関係者・行政関係者等の参加で開催(12/18)



リーフレット



ブナ林ハイキング



記念植樹会

【2024(令和6)年度の主な事業】

和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画(2021年度～2030年度)」に基づき、各種調査及び保全活動、府民向けの普及啓発活動を行います。

① コアゾーン及びバッファゾーンにおける調査研究等

- ・ギャップ更新調査を実施するとともに、次年度計画の植生調査に向けて準備を進めます。
- ・天然下種更新モニタリング調査、花芽・結実調査、種子調査、生育環境調査、哺乳類モニタリング調査を継続します。

② バッファゾーン等における保全活動等

- ・ニホンジカの確認やイノシシの増加などの調査結果を受けて、監視体制を強化し、獣害対策について検討を進めます。
- ・和泉葛城山ブナ愛樹クラブ等によるブナ若木の育成・森林保全整備活動を継続支援します。
- ・ナラ枯れへの対応として、被害枯死木へのビニールシート巻きを継続実施します。

③ PR活動等

- ・新緑の時期にブナ林自然観察会を開催します。
- ・看板、案内板、解説板等の整備計画を検討します。
- ・企業等によるCSR活動、地元学校や博物館等地元他団体との連携に努めます。

④ 運営・調整

- ・和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会、同ワーキンググループ会議を開催し、専門家・関係者のご意見を伺いながら、上記事業を効果的かつ円滑に進めます。
- ・ブナ林をフィールドとした調査・研究成果の共有を目的とした研究交流会を開催します。

三草山ゼフィルスの森保全事業（豊能郡能勢町）



大阪府の北端に位置する三草山(標高564m)の山麓部にあり、国内で生息しているゼフィルス(ミドリシジミ類の蝶の愛称)25種のうち10種が確認されています。なかでもナラガシワの葉を食するヒロオビミドリシジミにとっては府内唯一の生息地であり、国内の分布の東限です。大阪府緑地環境保全地域に指定され、ゼフィルスの生息に必要な広葉樹の育苗や植栽、環境整備、シカ対策などの保全活動を行っています。

また、三草山の麓にある神山(こやま)の棚田では、遊休農地を多様性豊かな稲作水系へと復活させるべく、遊休農地再生事業「タガメの田づくり」の活動として、昔ながらのお米づくりをしながら棚田の維持管理を

行っています。

ここでは、学識経験者、地元住民、ボランティア団体、大阪府、能勢町、当協会などが参画する三草山ゼフィルスの森保全検討会議が策定した保全活動計画に基づいて、関係者が主体的・計画的に保全活動を進めています。

2023(令和5)年度は、萌芽更新施業や全エリアを防鹿柵で囲う事業を柱とする3カ年事業計画(2023年度~2025年度)を策定しました。より多くの方にこの場所での保全活動を知っていただくため、企業によるハイキング・観察会などのイベントや保全活動体験のサポート、経団連自然保護協議会による視察の受け入れ及び情報交換会への協力を行いました。また、ささゆり学園(能勢町立小中一貫校)の4年生を対象に、どんぐりを学ぶ授業を実施し、児童と一緒にナラガシワなどの苗木づくりを行うなど、地元の小学校との連携を強化しました。さらに、3月には「三草山ゼフィルスの森の将来を語る会」を開催し、自然環境保全に興味がある周辺住民や団体などへ、活動への参加を呼びかけました。

【2023(令和5)年度の主な事業実績】

(1) 計画検討・調査等

- ・ 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催
- ・ 三草山ゼフィルスの森中期3カ年事業計画の策定
- ・ 森林の更新に伴うゼフィルスへの影響調査(大阪公立大学、日本鱗翅学会等)
- ・ 森林環境の変化による植生や昆虫類への影響調査(大阪公立大学等)
- ・ タガメの田づくり活動地・耕作放棄地での水田再生の研究(大阪公立大学等)

(2) 保全活動等(保全活動参加目標人数1,320人/実績1,670人)

- ・ 能勢みどりすくとクラブ、能勢の里山を繋ぐ会によるボランティア保全活動への支援
- ・ 萌芽更新施業の継続(伐採木は木の駅プロジェクトへ出材した他、薪やシイタケのほだ木に利用)
- ・ 関西大学第一中学校 能勢プロジェクトへの支援
- ・ ささゆり学園との連携
- ・ 地元の方による巡回活動



保全活動:ナラガシワ等の果実の採集



萌芽更新施業地:伐採木搬出作業



関西大学第一中学校能勢プロジェクト



ささゆり学園どんぐり教室

(3)PR活動等

- ・ 観察会等のイベント開催
ゼフィルス観察会(6/18)、タガメの田づくり育苗(4/29)・田植え(5/21)・稲刈り(9/24)・冬支度(12/3)、ハイキング(11/23)
- ・ 大東建託株式会社によるCSR活動受け入れを実施(6/17)
- ・ 経団連自然保護協議会による視察受け入れ・3者(経団連、能勢町、トラスト協会)情報交換会実施(8/2)
- ・ エネクスフリート株式会社によるCSR活動「エネフリSmile」への協力(11/19・3/17)
- ・ エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社「うめラボフライデー」での情報提供・体験会の実施(2/2)、ボランティア活動受け入れ(3/17)
- ・ 三草山ゼフィルスの森の将来を語る会の開催(3/24)



ゼフィルス観察会



三草山ゼフィルスの森の将来を語る会

【2024(令和6)年度の主な事業】

3カ年事業計画に位置付けた全エリアの防鹿柵設置に着手します。また、持続可能な保全活動を行うため、学校教育との連携を図るとともに、企業CSR活動の誘致を行います。

① 計画検討・調査等

- ・ 三草山ゼフィルスの森保全検討会議を開催します。
- ・ 専門家の協力を得て、各種調査を実施します。

調査内容:森林の更新に伴うゼフィルスへの影響調査、ゼフィルスの寄主植物の現存量評価、タガメの田づくりの水生動物調査など

② 保全活動等

- ・ シカによる食害からゼフィルス類をはじめ動物が依存する植物を守るため、ゼフィルスの森の東側エリアを防鹿柵で囲います。
- ・ ボランティア保全活動(防鹿柵の設置・管理、坪刈り、ササ刈り、クヌギやナラガシワ等の果実の採取、苗木の育成、森の更新作業など)を支援します。
- ・ 巡回活動を実施します。(地元へ委託)

③ PR活動等

- ・ 観察会、保全活動体験会、タガメの田づくりイベント(田植え・稲刈り等)、ハイキングイベント等を開催します。
- ・ 企業等によるCSR活動や、メディア取材など、三草山ゼフィルスの森を活用して行う活動のサポートなどを行います。



地黄湿地は、面積1haに満たない貧栄養の滲水(しんすい)湿地です。サギソウ、トキソウ、モリアオガエル、そして日本で一番小さなトンボであるハッチョウトンボ等、湿地特有の多様な動植物が生育・生息することから大阪府緑地環境保全地域に指定されています。

乾燥化・陸地化が進み湿地環境の衰退がみられていましたが、2014(平成26)年に学識経験者、地元住民、ボランティア団体、大阪府、能勢町、当協会等が連携して「地黄湿地再生保全検討会議」を設立し、推進体制を整えました。2019年度から森人塾修了生や能勢みどりすどクラブのメンバーなどが参画して結成された地黄湿地保全活動グループ(地黄の森FANクラブ)による保全活動が定例化し、陸地化した区域の侵入木

伐採やススキ抜根、水環境の整備等の再生保全活動を進めた結果、環境が大幅に改善しました。

2023(令和5)年度は、「3ヵ年計画(2022年度～2024年度)」(地黄湿地再生保全検討会議)に基づき、主に湿地周辺の森林整備と木道の補修を行いました。

また、北摂エリアで湿原保全活動を行っている団体に呼びかけ、お互いの湿地の状況・課題・取り組みを共有し、相互に連携を図ることを目的に情報交換会を開催しました。

【2023(令和5)年度の主な事業実績】

(1) 計画検討・調査等

- ・地黄湿地再生保全検討会議の開催
- ・各種調査の実施(植生調査、希少植物の開花数調査、水生動物調査等)
- ・湿地のモニタリング、管理へのフィードバックの実施



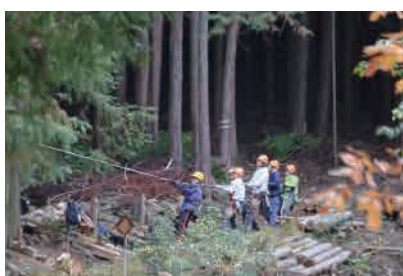
植生調査

(2) 保全活動等(保全活動参加目標人数340人／実績377人)

- ・地黄の森FANクラブによるボランティア保全活動への支援
(湿地の環境改善、湿地内・沿岸林縁部の下草刈り、植物調査、湿地内の灌木・高茎草本刈り取り、ウシガエルなどの外来種や国内外来種のメダカの駆除等)
- ・湿地周辺の森林整備(日本森林ボランティア協会へ委託)
木道の補修(大阪府森林組合へ委託。資材は地黄の森FANクラブが作成した焼き板・焼き杭等を活用)
- ・シカの食害実態把握のため、周辺森林での防鹿柵設置及び植生モニタリングの実施
- ・地元の方による巡回活動



保全活動:下草刈り



保全活動:周辺森林整備



木道補修

(3)PR活動等

- ・ 観察会・保全活動体験会の開催
トキソウ・ハッチョウトンボ観察会(6/24)、サギソウ観察会(7/23)、秋の生きもの観察会(10/19)
- ・ 地元高校による環境学習と保全活動への協力
- ・ 北摂エリア湿原保全活動団体情報交換会の開催(2/23)



トキソウ・ハッチョウトンボ観察会



秋の生きもの観察会:地元高校生による植物紹介



北摂エリアの湿原保全活動団体情報交換会

【2024(令和6)年度の主な事業】

地黄湿地保全事業準備資金を活用し、生物多様性の保全に向けた森林整備や木道の修復・新設などを行います。

① 計画検討・調査等

- ・ 地黄湿地再生保全検討会議を開催します。
- ・ 湿地袖部の草原化・湿地内掘削地部分と周辺森林整備部分の植生のモニタリング調査を実施します。
- ・ 湿地内に生息する水生動物のモニタリング調査を実施します。
- ・ サギソウなどの希少植物の生育状況モニタリング調査を実施します。

② 保全活動等

- ・ 地黄の森FANクラブによるボランティア保全活動を支援します。
- ・ 老朽化した木道の修復・新設を行います。
- ・ 湿地周辺に防鹿柵を設置します。
- ・ 周辺の森林整備を行います。
- ・ ウシガエル及び国内外来種のメダカを駆除します。
- ・ 巡回活動を実施します。(地元へ委託)

③ PR活動等

- ・ 観察会、地元高校環境学習等を行います。

CSR等支援事業

社員参加型の森づくりなど、自然環境保全活動に関心のある企業に対して、大阪府や里山保全団体等と連携し、活動計画の提案や活動時の安全管理・指導などの支援を行っています。

自社フィールドでの活動や、当協会主催または関係団体の保全活動に団体で参加いただくなど、各企業のニーズに応じたコーディネートを行っています。

(1) 新規活動の立上げ支援

企業の森づくりやCSR活動に関心のある複数の企業より、当協会の取組みや提供可能なサポートへの問合せがあり、それらの相談に対してサポートを行いました。

企業名	活動地	タイプ	2023年度の活動内容
株式会社平和堂	枚方市東部清掃工場 (枚方市)	大阪府アドプトフォレスト制度の活用	従業員研修の一環

(2) 既存活動支援

企業名	活動地	タイプ	2023年度の活動内容
エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社	三草山ゼフィルスの森 (能勢町)他	協会主催活動地	事前説明会・体験会の実施、 定例保全活動への参加
株式会社NTTドコモ関西支社	ドコモ泉南堀河の森 (泉南市)	自社フィールド	里山保全活動の実施、 自然共生サイトへの登録
エネクスフリース株式会社	三草山ゼフィルスの森 (能勢町)	協会主催活動地	里山保全活動、案内看板の更新、 社会貢献活動の実施
大東建託株式会社	三草山ゼフィルスの森 (能勢町)	協会主催活動地	いきもの観察及び保全体験の実施
株式会社立花エレテック	枚方市東部清掃工場 (枚方市)	大阪府アドプトフォレスト制度の活用	新入社員研修による竹林整備



平和堂:調印式



エイチ・ツー・オー リテイリング:ナラガシワ植樹



NTTドコモ関西支社:道づくり作業



エネクスフリース:子どもたちと伐倒体験



大東建託:生きもの観察、芽かき等保全体験



立花エレテック:新入社員研修にて竹林整備

(3)パンフレットの作成

新規に活動を検討する企業が具体的な活動をイメージできるよう、これまで当協会が関わってきたCSR活動サポートの実績をベースに、サポートメニューをとりまとめたパンフレットを500部作成し、配布しました。データをホームページでも掲載し、CSR活動を推進するためのツールとして活用しました。



パンフレット



地域連携推進事業

生物多様性の保全に向けた地域・地元との連携のモデルを構築するため、三草山ゼフィルス森・地黄湿地がある能勢町において地域連携のあり方を模索し、府内の他地域での展開を視野に入れ、得られた知見や成果の情報発信を行いました。

【2023(令和5)年度の主な事業実績】

- ・ 情報の集約・発信
 - 北摂エリアの湿原保全活動団体情報交換会の開催(再掲)
 - 能勢てっぺんフェスタに出展(10/1)
 - ささゆり学園SDGsフェスタに出展(11/17)
- ・ 自然環境・生物多様性、能勢産材の魅力を伝える子どもを対象としたイベントへの参画
 - 「里山デイキャンプ in NOSE」(9/9)の運営
- ・ 企業と活動フィールドのマッチング
 - 大東建託株式会社による能勢町における生物多様性保全の取組み実施に向けて、地黄湿地を対象とすることを提案
- ・ 都市住民を対象としたイベントの開催
 - 三草山ハイキングを実施(11/23)



北摂エリアの湿原保全活動団体情報交換会

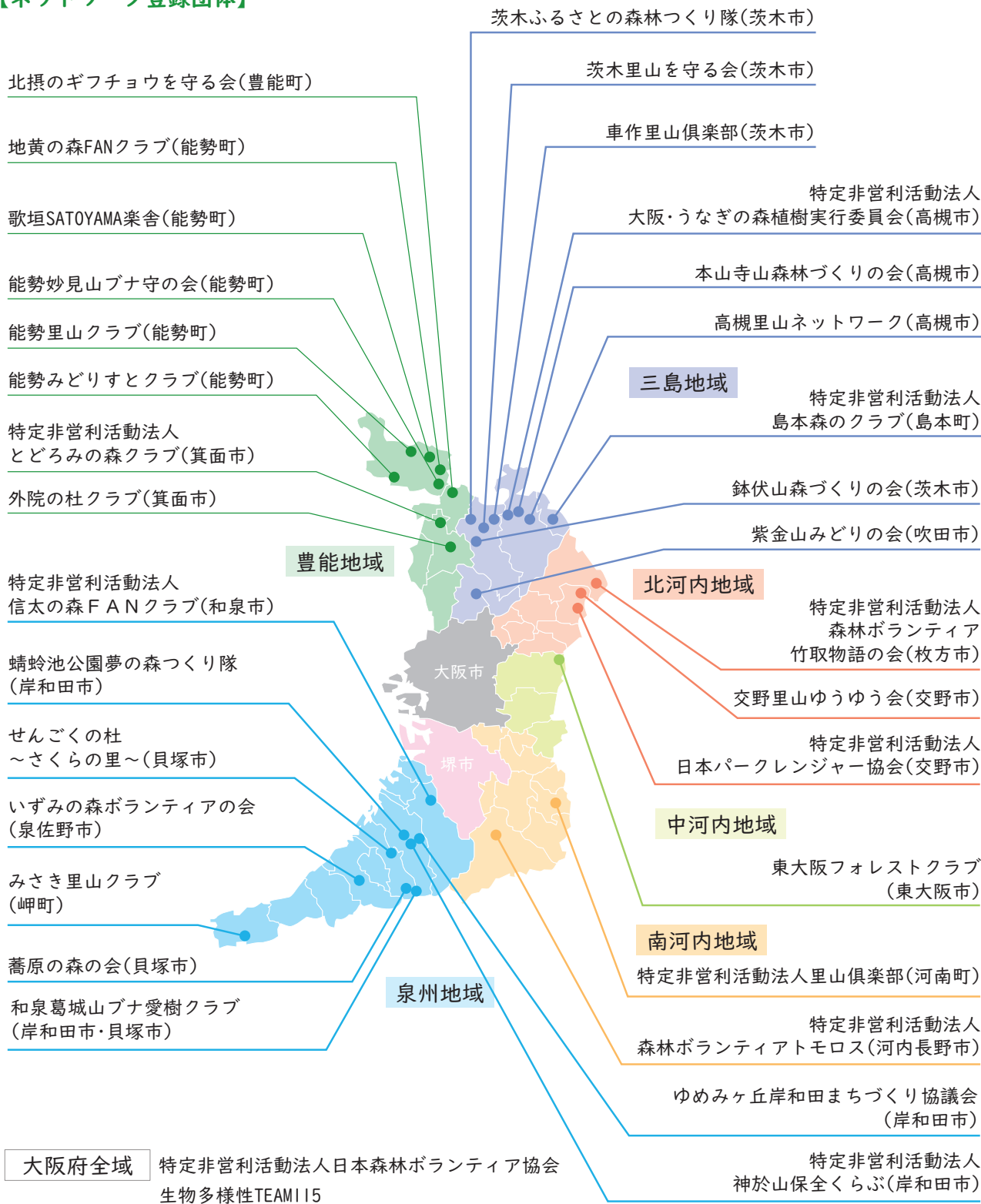


里山デイキャンプ

府内自然環境保全活動支援事業(大阪里山ネットワーク)

大阪府内で活動中の里山保全団体を支援するため、大阪里山ネットワークを運営しています。登録団体への支援として、①情報サイト(広報・PRの場を提供)の運営、②少額助成(普及啓発イベント開催や災害復旧等を対象)を行っています。現在、34団体が登録しています(2024(令和6)年6月末時点)。

【ネットワーク登録団体】



【2023(令和5)年度の主な事業実績】

(1) 少額助成事業の実施

- ・ 通常の保全活動に加えて行うイベントや、突発的に発生する被災・被害復旧などに利用できる少額助成事業に対し、6団体から申請があり、8件の事業に対して合計347,000円の助成を実施

(2) パネル展の実施

- ・ 近畿中国森林管理局と連携し、登録団体の情報発信の一環としてパネル展示を実施(7/6~8/2)

(3) 看板の再整備

- ・ 当協会がこれまで各活動地に設置した看板のうち、老朽化したものを更新(4活動地計7枚)

(4) 和泉葛城山ブナ林作業小屋の補修

- ・ 老朽化していた和泉葛城山ブナ林にある作業小屋の補修を実施



パネル展



更新した看板(島本の森)

大阪さともり地域協議会の運営

大阪さともり地域協議会は、2013(平成25)年度からスタートした林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の実施にあたって、大阪府域を対象として設置された地域協議会です。当協会はその事務局として、活動組織への交付金の交付、活動に対する支援や指導等を行っています。

2023(令和5)年度は、「活動地の生物多様性を考える」をテーマとしたセミナー開催やアドバイザー派遣などに加え、チェーンソー安全講習会・刈払機取扱安全講習会を開催するなど、持続可能な活動推進に資する取り組みを行っています。

2024(令和6)年度も引き続き事務局として適正で円滑な事業の推進に努めます。

【2023(令和5)年度の主な事業実績】

- ・ 交付金申請採択団体
活動組織26組織
交付金 13,263千円
- ・ 大阪さともり地域協議会
総会(4/26 web開催)
審査会(4/26 web開催)
- ・ 活動組織へのアドバイザー派遣(6活動組織、10回)
- ・ 安全講習会
チェーンソー安全講習会(5/21 茨木市銭原地区)
刈払機取扱安全講習会(6/13 箕面森町)
救急法応急手当安全講習会(1/14 大阪産業創造館)
- ・ セミナー・交流会
里山保全セミナー(12/8 大阪産業創造館)



チェーンソー安全講習会



里山保全セミナー

自然環境保全地域支援事業(社寺林)

社寺林と呼ばれる神社や寺院の周辺の森林は、古くから保護されており、極相林に近い天然林の状態で残されています。大阪府では5つの社寺林が自然環境保全地域に指定されています。当協会は土地所有者(社寺)と保全契約を結び、それらの自然環境を維持・管理するための保全活動に対して助成を続けています。

2023(令和5)年度はそれぞれの社寺林で維持・補修や巡視、普及啓発に加え、次のような活動が行われました。

【妙見山(みょうけんさん)(能勢町、10ha)】

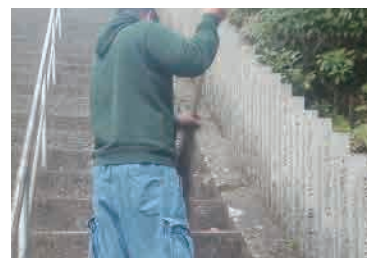
妙見山山頂付近に位置する比較的低高度地帯(標高662m)のブナ林です。西南日本のブナ林が標高1,000m以上の寒い場所に分布している中で、アカガシ等の常緑広葉樹が混じった林相をもっている、学術的にも貴重な樹林です。ブナの植樹や獣害防止柵の整備等が行われました。



妙見山:防鹿柵内の下草刈り

【本山(ほんざん)寺(高槻市、14ha)】

標高500メートル前後で比較的市街地に近いところに位置しているにもかかわらず、自然環境が良好な状態で保全されています。樹齢100年以上の高木が多く、一部にはモミ、ツガ、カシ類等の優れた天然林があり、植物の種類でも淀川北部の山地では随一といつてよい豊富な区域でもあります。山林・道路の修理、清掃、災害木の除去等が行われました。



本山寺:保全地域内の清掃

【若山神社(島本町、11ha)】

樹齢200年前後のコジイを主とする極相状態に近い林相で、府内でも有数のシイ林です。また、シイ林の周囲をシラカシが取り巻くように成長しており、これはシイ林とカシ林が棲み分けた結果と考えられ、学術的にも貴重です。5年ぶりに催しが開催され、来訪者への普及啓発が行われました。



若山神社:保全地域内の整備

【美具久留御魂(みぐくるみたま)神社(富田林市、2ha)】

富田林丘陵の東辺部に位置し、コジイを主とする極相状態に近い広葉樹林です。林内は樹齢200年前後のコジイをはじめ、ナナミノキ、アラカシ、サカキ等がみられ、丘陵地の典型的なシイ林です。しめ縄会による維持補修活動や侵入竹駆除、獣害対策が行われました。



美具久留御魂神社:台風による倒木被害地への植樹

【意賀美(おがみ)神社(岸和田市、1ha)】

神於山(こうのやま)の北西山麓に位置し、コジイを主とする広葉樹林です。ミミズバイ、ホルトノキ、タイミンタチバナ、ツルコウジといった府内でも珍しい植物が見られます。また、典型的な暖地性照葉樹林で、同様の種組成を持つシイ林としては府内で最も北に位置し、学術的にも貴重です。宮山保存会60名による草刈り、枝払い等が行われました。



意賀美神社:保全地域内の草刈り



緑の募金事業

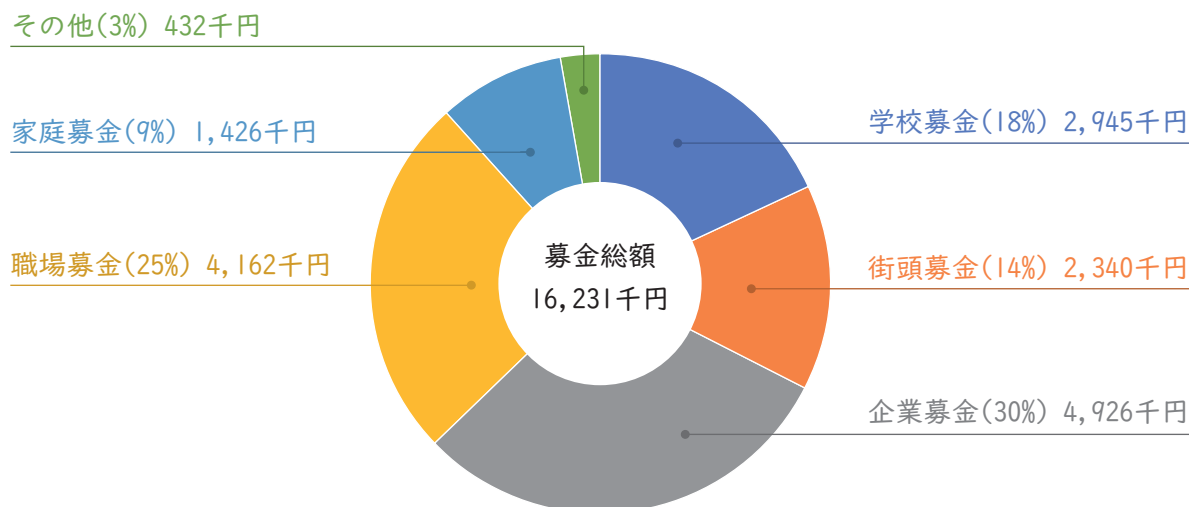
「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき寄付金の募集を行うもので、大阪府では、当協会がその業務を行う団体として指定されています。

府民・企業・団体などの皆様にご協力いただいた「緑の募金」を活用し、市街地や学校の緑化、また教育現場への助成事業として、みどりづくりの輪活動支援事業や「学校に森林と木の香りを」整備事業などを実施しています。



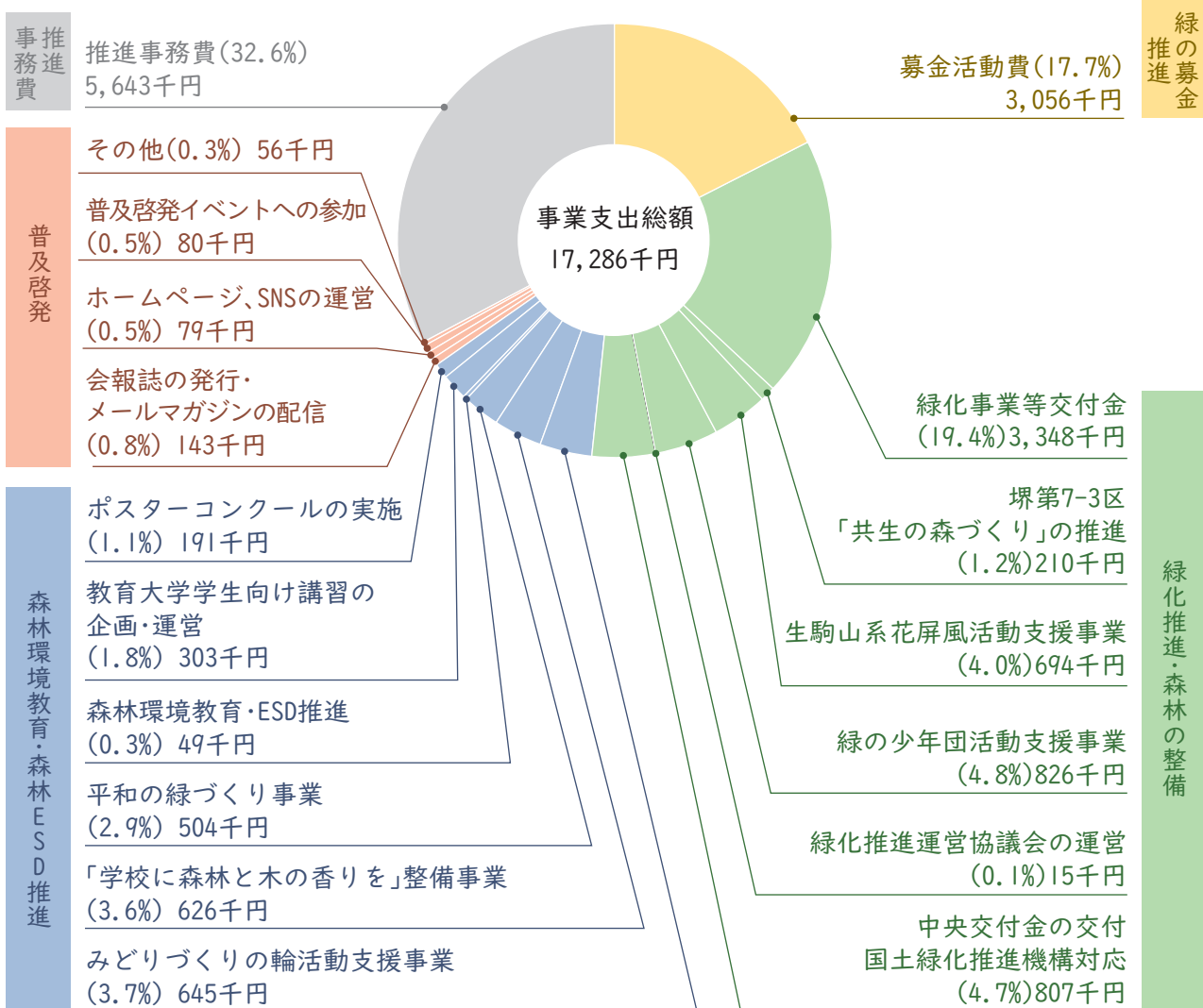
緑の募金 収入について

2023(令和5)年度の募金総額は16,231千円となり、コロナ前の2019年度と比べると75%にとどまり、前年度と比べると97%となりました。



緑の募金 支出について

2023(令和5)年度の事業支出総額は17,286千円となりました。



緑の募金運動推進事業

(1) 普及啓発資材の整備

- ・ 緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、募金資材を整備しました。(緑の羽根、緑化バッジ、PRチラシ、ポスター、募金箱)
- ・ 緑化バッジは、大阪府立港南造形高等学校の協力を得てデザインされ、選考会を経て、最優秀賞の作品が採用されました。



2023(令和5)秋バッジ
(ヒイラギ)
大阪府立港南造形高等学校
塩田 結禾さんのデザイン



2024(令和6)春バッジ
(カタクリ)
大阪府立港南造形高等学校
福井 海音さんのデザイン

(2) 募金活動の推進

- ・ 日常的な募金活動に加え、募金キャンペーン期間を設け、大阪府庁舎などに募金箱を設置するなど、集中的に募金活動を推進しました。

〈キャンペーン期間〉

春季 2023(令和5)年3月1日～5月31日 ・ 秋季 2023(令和5)年9月1日～10月31日

- ・ 「水都おおさか森林(もり)の市」(10/23 毛馬桜之宮公園・近畿中国森林管理局)や「大阪自然史フェスティバル」(11/19・20 大阪市立自然史博物館)などのイベントに出展し、募金の協力を呼びかけました。
- ・ 音楽集団ANKKAのコンサート会場において募金の協力を呼びかけ、1月は会場において緑の募金の紹介パネルを展示しました。
- ・ 大丸心斎橋店(大阪府中央区)が環境関連取組の一環として行う、緑の募金チャリティー企画が、5月と10月に同店舗にて開催され、10月は緑の募金のパネル展示も行いました。



募金箱設置:ATC



大丸心斎橋店:パネル展示



ANKKAコンサート:パネル展示

(3) 募金協力者の拡大

- ・ 燃料供給や車の販売・整備などの事業を行っているエネクスフリート株式会社(大阪府淀川区)による、軽油販売に伴うポイントからの寄付が始まりました。
- ・ 廃食用油回収リサイクル及び販売などの事業を行っている植田油脂株式会社(大東市)による、リサイクルせっけんの売上に伴う寄付が継続しています。



エネクスフリート株式会社ポイント寄付

緑化推進・森林の整備事業

(1) 緑化推進事業等交付金

募金活動に協力した団体、学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、募金額の40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化推進事業等交付金を交付しています。

2023(令和5)年度は、305団体に対し、3,252,456円を交付しました。

〈交付金を活用した緑化活動〉



八尾市立八尾小学校



豊中市立桜井谷小学校



大阪国際滝井高等学校



豊中緑化リーダー会



ボーイスカウト茨木第3団



枚方市

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進

堺第7-3区は、府内の産業廃棄物を受け入れ埋立てしてきた大阪府堺臨海部の産業廃棄物埋立処分場です。全体約280ヘクタールのうち、市民・NPO等の参加のもと、森として整備することが位置づけられた100ヘクタールの区域を「共生の森」として、植栽及び草刈りイベントの開催等により森づくりを推進しています。

2023(令和5)年度は、「第19回共生の森植樹祭」(3/2)に対し助成を行いました。



共生の森 植樹

(3) 生駒山系花屏風活動支援事業

大阪商工信用金庫エコ定期「まねきeco」や「商工さくら基金」からの「緑の募金」を活用し、大阪の市街地から見渡せる生駒山系を屏風に見立て、府民の協働により、ヤマザクラなどの花木や紅葉の美しい樹木の植樹を進めています。

2023(令和5)年度からは、生き物の保全・育成、自然観察会や野外体験学習活動、森林保全等のボランティアを養成する活動等、生駒山系花屏風構想の普及啓発に資する行事に対象を拡大し、9団体に助成を行いました。

また、一般参加による花屏風ハイキング(大東市11/11)が開催され、ハイキングとともにごみ拾いや植樹が行われ、緑の募金の呼びかけも行いました。

団体名	活動場所	植栽樹種・本数、活動内容	参加人数(人)
神立水呑地蔵講	八尾市	ハナガサザクラ1本、カワヅザクラ1本、ムラサキザクラ1本	8
交野里山ゆうゆう会	交野市	バタフライガーデンによる生物の保全、環境教育	35
森区山地保全会	交野市	ソメイヨシノ30本	92
NPO法人日本パークレンジャー協会	交野市他	維持管理・体験学習・ボランティア養成	98
認定NPO法人大東市青少年協会	大東市	クリ2本、サルスベリ1本	107
野崎観音・里山保全の会	大東市	オオシマザクラ6本	10
日下山を市民の森にする会	東大阪市	維持管理(下草刈り等)	26
大東北条里山クラブ	大東市	ヤマボウシ5本	12
枚岡ネイチャークラブ	東大阪市	ヤマザクラ10本	18
合計		植栽本数:57本	406



花屏風ハイキングでの募金活動



日下山を市民の森にする会



野崎観音・里山保全の会

(4) 学校への助成事業

※詳細は、P. 26～27に掲載。

(5) 平和の緑づくり事業

※詳細は、P. 28に掲載。

(6) 緑の少年団活動支援事業

大阪府内の緑の少年団連盟事務局として、総会(7/5)及び指導者情報交換会(1/13)を開催しました。2023(令和5)年度は4年ぶりの交流集会を大阪府少年自然の家(貝塚市)で開催(10/14)し、72名が参加しました。また、子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、連盟所属の4団に対して活動助成を行いました。



交流集会:ハイキング



交流集会

(7)緑化推進運営協議会の運営

緑の募金の適切な運用を図るため、有識者からなる緑化推進運営協議会を開催しています。2023(令和5)年度の開催状況は以下の通りです。

5月23日(火)	第62回 緑化推進運営協議会	議案 ・2022(令和4)年度事業報告について ・2022(令和4)年度決算報告について
2月28日(水)	第63回 緑化推進運営協議会	報告案件 ・2023(令和5)年度事業概要について ・2023(令和5)年度「緑の募金」収支決算見込みについて 議案 ・2024(令和6)年度「緑の募金」事業計画案について ・2024(令和6)年度「緑の募金」収支予算案について

【2024(令和6)年度の主な事業】

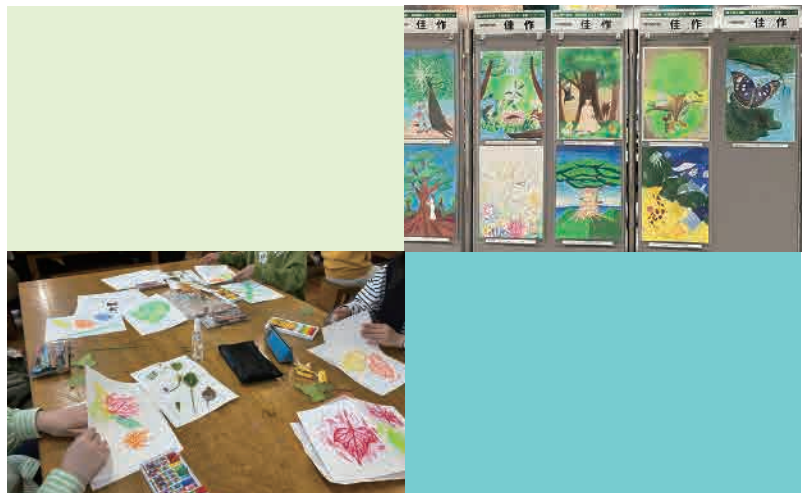
- ・ 緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、募金資材を整備し、活用します。
- ・ SDGs 達成への貢献を目指し、緑の未来を担う子どもたちへの助成など緑化推進・森林の整備事業を進めます。
- ・ 府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベントなどで緑の募金活動・PRを行います。



森林環境教育・森林ESD 普及啓発 その他

森林ESDを「持続可能な社会づくりの担い手を育むことを目的に、森林・里山や校庭・公園などの身近な自然環境を活用して行う学習や活動」と定義付けし、より多くの小学校・保育の現場で質の高い森林ESDが実践される環境の整備に向けて、関心を持つ諸団体と連携し、様々な取り組みを進めています。

普及啓発については、メールマガジン、ホームページ、SNS、動画配信等、多様な媒体による重層的な情報発信を行い、より多くの皆さまに当協会が行う事業について知っていただく機会を設けていきます。



森林環境教育・森林ESDの推進事業

森林環境教育・森林ESDの推進事業は、学校等への助成事業に加え、教育関係者と林業・自然環境保全関係者のネットワークづくりなど、環境整備に主眼をおいた取組みを進めました。

(1) 学校等への助成事業

① みどりづくりの輪活動支援事業

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープ整備等へ助成しています。

2023(令和5)年度は、4校・園へ助成しました。

〈太子町立幼稚園〉

園庭を「たくさんの生きものが集まる場にしたい」と、新たにビオトープ池を整備しました。子どもたちの思いを尊重し「やりたい・つくりたい」と思えるきっかけづくりを工夫され、クラスから園全体の活動へ、そして、保護者の方たちをも巻き込む活動となりました。



〈大阪教育大学附属平野小学校〉

5年生の環境をテーマにした学習と関連して、学校敷地内の観察池と周辺の草地・雑木林とを接続したビオトープとして整備しました。大阪本来の自然環境を取り戻すために、子どもたちが自ら探求する学習を設定し、専門家の知見等を交えながら学習に取り組みました。



〈大阪市立茨田小学校〉

水漏れにより活用されなくなっていたビオトープ池と、その周りの「すくすくの森」全体を生物多様性の高い自然環境、学びの場として活用することを目指して、池の整備に取り組みました。4～6年生の児童が、土砂出しから防水シート敷き、土入れ等の作業に取り組みました。



〈豊中市立第十五中学校〉

学校と地域が協力して改修や周辺整備を実施しているビオトープ池。生物調査の結果、絶滅危惧種Ⅱ種のシャジクモの重要な繁殖地である一方で、外来種の繁殖や在来種ヒメガマの繁茂過多などの課題が見つかりました。そこで、学校と地域とが連携して、ビオトープのメンテナンスを実施しました。



②「学校に森林と木の香りを」整備事業

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対して助成しています。

2023(令和5)年度は、3校・園へ助成しました。

〈大谷さやまこども園〉

園庭にあるクスノキの枯れ枝を伐採して、園児と保護者が園の看板を制作しました。また、園庭に地元の河内材(南大阪地域)を活用した丸太椅子や木製のベンチ、テーブルを設置し、園児による植樹も行いました。



〈愛染園南港東保育園〉

大阪材を用いて、棚を制作しました。園児たちがのこぎりで板材を切り、切った材をやすりで磨き、板材に好きな絵を描きと、楽しく制作するとともに、専門家から木の良さや木の必要性についてのお話をしてもらいました。また、端材で地域の方と焼き芋大会を行いました。



〈富田林市立向陽台小学校〉

6年生の総合的な学習の時間において「森や木について学び、森と木と自分の未来について考える」をテーマに森林ESDを実施しました。製材所や人工林の見学、木工体験、出前授業を通して実際の森や木に触れ、学びを深めました。また、卒業記念にサクラを植樹しました。



③専門家相談費用助成制度

①②の助成事業に関連して、学校が森林ESD等の検討段階における計画立案や活動組立てに際し、専門家による助言を得られるよう、費用助成等の支援を行いました。

2023(令和5)年度は、4件の専門家相談に助成しました。当該4件の活動は、みどりづくりの輪活動支援事業助成金を活用して実施されました。

(2)平和の緑づくり事業

大阪府内の株式会社平和堂店舗における有料レジ袋の収益金の一部を「緑の募金」としてご寄付いただき、幼稚園、こども園、保育園などで身近な緑づくり(植樹)と環境教育(緑の教室)を開催しました。

2023(令和5)年度は3園で実施しました。

実施園名	所在地	植樹・本数	参加者数
社会福祉法人晋栄福社会 あまのみやちどりこども園	交野市	キンモクセイ1本、オリーブ1本	57名
社会福祉法人まりも会 まりも保育園	枚方市	クヌギ1本、キンモクセイ1本、アジサイ4本	37名
学校法人西村学園 ひまわり幼稚園	大阪市	サクラ1本	78名

〈植樹〉



〈緑の教室〉



(3)教育大学学生向け講習の企画・運営等

大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学の1回生の学生約160名を対象に、「図画工作」授業の時間を活用し、「どこでもできる森林ESD体験講座」を実施しました。

また、大阪府森林組合南河内支店が、南河内地域における水平展開を目的に河南町立かなん桜小学校で実施した「森林ESD体験授業」を支援しました。



大阪教育大学:どこでもできる森林ESD体験講座



大阪教育大学:どこでもできる森林ESD体験講座



かなん桜小学校:森林ESD体験授業

(4)パネル展示の開催

大阪府立中央図書館(4/19~5/9)や、近畿中国森林管理局「森林(もり)のギャラリー」(7/6~8/2)にて、「子どもたちにもっとみどりを~緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介~」と題し、パネル展示を行いました。



大阪府立中央図書館展示



大阪府立中央図書館展示



近畿中国森林管理局 森林(もり)のギャラリー展示

(5)国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールを実施しています。令和5年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール中央審査会入選の3点をはじめ、大阪みどりのトラスト協会賞11点及び佳作14点を、上記パネル展示と同時に展示しました。

また、令和5年用中央審査会にて、高等学校の部「特選 文部科学大臣賞」を受賞した大阪府立堺西高等学校 1年(応募当時)玉置 花怜さんの作品が、全国の2024年の緑の募金普及啓発のメインイメージに選ばれました。



2024年緑の募金ポスター

令和6年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールは、大阪府内の小学校・中学校・高等学校より10校/62点の応募(参加総数183点。各学校10作品まで応募可)がありました。10月に審査会を開催し、優秀作品14点を選び、公益社団法人国土緑化推進機構中央審査会に応募しました。その結果1名が入選しました。

【大阪みどりのトラスト協会賞】

※学年は作品応募当時です。

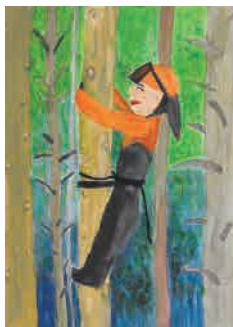
小学校の部



「人とみどりのせかい」
堺市立新金岡小学校
2年 大西 聖牙 さん



「みんなあつまれ!緑のトンネル」
堺市立新金岡小学校
3年 小林 正太郎 さん



「えだうちする女の人」
大阪市立聖和小学校
3年 竹田 果永 さん

【中央審査会入選】

小学校の部
国土緑化推進機構理事長賞



「見て!! 僕の宝物」
箕面市立西南小学校
4年 西尾 健成 さん

小学校の部



「森の光る道」
箕面市立箕面小学校
3年 松岡 一翔 さん



「いのちの木」
箕面市立西南小学校
5年 岡田 紗十志 さん



「協力活動」
大阪市立東中学校
1年 林 柚菜 さん



「夕日をさす自然」
大阪市立東中学校
1年 吉川 幸来 さん



「私たちの木」
大阪市立東中学校
2年 新田 真優 さん

中学校の部

中学校の部



「めばえ」
守口市立庭窪中学校
3年 田中 心久 さん



「緑と人」
大阪市立工芸高等学校
1年 秋口 侑里 さん



「光に照らされる森」
大阪市立工芸高等学校
2年 永井 杏那 さん



「植樹と明るい未来」
大阪市立工芸高等学校
3年 井上 朝陽 さん



「大切な一雫」
大阪府立第二工芸高等学校
3年 神取 杏 さん

高等学校の部

【2024(令和6)年度の主な事業】

- ・「学校に森林と木の香りを」整備事業とみどりづくりの輪活動支援事業を統合し、子どもたちが、森林や木材利用、生物多様性への理解を深めることを目的に、身近な緑化や森林整備などの活動、森林ESDや緑の大切さを知る学習などを支援する助成事業を実施します。
- ・大阪教育大学、大阪森林インストラクター会等と連携し、森林ESDを体験する教育大学学生向け講習を実施します。
- ・森林環境教育・森林ESD・里山保全活動の普及啓発を目的としたパネル展を実施します。
- ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの募集を継続します。

普及啓発事業

ホームページ・SNSを活用し、メールマガジン配信と連動したタイムリーな情報発信を行いました。イベントへの出展では、認知度向上につながるよう協会の事業を紹介するパネル展示を行いました。

(1) 会報誌の発行・メールマガジンの発行

会報誌「ANNUAL REPORT2022(みどりのトラストNo. 106)」を発行しました(7月)。メールマガジンを、月に1回、約550の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促しました。

(2) ホームページの運営・SNSの活用

ホームページは、自然環境保全事業では、イベント告知とスタッフブログを中心に、活動地の最新情報をお知らせしました。緑の募金事業では、募金がどのように活用されているかを活用事例ページで紹介しました。Facebook・Instagram・YouTubeを活用し、それぞれの特徴に応じた内容を配信しました。

(3) 普及啓発イベントへの参加

「水都おおさか森林(もり)の市(10/23)」(大阪市北区)では、画家のメルヘンリエこさんと「いろんな生きもののお絵描きをしよう!」を実施しました。また、「大阪自然史フェスティバル(11/19・20)」(大阪市東住吉区)に出展し、募金活動・パネル展示等のPRを行いました。

また、当協会が行うシンポジウム・観察会などのイベント時や、地域のイベント、企業の総会などへ参加し、緑の募金への協力を呼び掛けました。

- ・一般社団法人大阪損害保険代理業協会(5月)
- ・能勢てっぺんフェスタ(10/1)
- ・枚方市環境フェスタ(10/29)
- ・生駒花屏風ハイキング(11/11)
- ・ささゆり学園SDGsフェスタ(11/17) など



水都おおさか森林の市出展



大阪自然史フェスティバル出展

【2024(令和6)年度の主な事業】

- ・ SNSを活用し、情報発信の頻度を高めます。
- ・ 普及啓発イベントにおいて、募金活動・パネル展示等のPR活動を行います。

会議開催状況

2023(令和5)年度の理事会、評議員会の開催状況は以下のとおりです。

(1)理事会

6月6日(火)	決議の省略	第1号議案 「評議員候補者2名の評議員会への推薦の件」 第2号議案 「評議員会の決議の省略による方法により、 評議員2名の選任を求める件」
6月12日(月) WEB会議	第29回理事会	第1号議案 「2022(令和4)年度事業報告について」 第2号議案 「2022(令和4)年度決算について」 第3号議案 「第13回定時評議員会招集について」
3月12日(火) WEB会議	第30回理事会	第1号議案 「嘱託職員への2023年度臨時賞与の支給について」 第2号議案 「2024(令和6)年度事業計画について」 第3号議案 「2024(令和6)年度収支予算について 資金調達及び設備投資の見込みについて」 第4号議案 「常勤役員の報酬額の決定について」

(2)評議員会

6月19日(月)	決議の省略	第1号議案 「評議員2名の選任の件」
6月27日(火) WEB会議	第13回評議員会	報告事項 「2022(令和4)年度事業報告について」 第1号議案 「2022(令和4)年度決算について」

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	円	円	
I 流動資産			
現金預金	8,328,324	6,640,104	1,688,220
未収金	2,221,158	3,780,341	△ 1,559,183
立替金	1,309,493	3,638,837	△ 2,329,344
前払金	352,170	381,368	△ 29,198
流動資産合計	12,211,145	14,440,650	△ 2,229,505
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,310,418	3,310,418	0
普通預金	19,592	10,000	9,592
投資有価証券	239,986,500	244,958,000	△ 4,971,500
基本財産合計	243,316,510	248,278,418	△ 4,961,908
(2) 特定資産			
トラストファンド			
普通預金	1,100,040	869,567	230,473
投資有価証券	22,186,560	22,762,520	△ 575,960
トラストファンド合計	23,286,600	23,632,087	△ 345,487
特定費用準備資金			
地黄湿地保全事業準備資金			
普通預金	1,361,447	2,762,617	△ 1,401,170
大阪里山ネットワーク運営準備資金			
普通預金	2,951,637	3,759,381	△ 807,744
特定費用準備資金合計	4,313,084	6,521,998	△ 2,208,914
特定資産合計	27,599,684	30,154,085	△ 2,554,401
(3) その他固定資産			
備品	96,741	218,096	△ 121,355
車両	1	1	0
長期前払費用	8,830	8,830	0
立木	1,023,000	1,023,000	0
その他固定資産合計	1,128,572	1,249,927	△ 121,355
固定資産合計	272,044,766	279,682,430	△ 7,637,664
資産合計	284,255,911	294,123,080	△ 9,867,169
II 負債の部			
I 流動負債			
未払金	7,723,303	7,299,900	423,403
前受金	543,000	599,000	△ 56,000
預り金	72,450	39,822	32,628
流動負債合計	8,338,753	7,938,722	400,031
負債合計	8,338,753	7,938,722	400,031
III 正味財産の部			
I 指定正味財産			
大阪府出捐金	100,000,000	100,000,000	0
寄附金	126,341,618	126,341,618	0
有価証券評価差額	16,974,892	21,936,800	△ 4,961,908
基本財産合計	243,316,510	248,278,418	△ 4,961,908
ブナの森トラストファンド	14,892,102	15,104,716	△ 212,614
ゼフィルスの森トラストファンド	8,394,498	8,527,371	△ 132,873
トラストファンド合計	23,286,600	23,632,087	△ 345,487
指定正味財産合計	266,603,110	271,910,505	△ 5,307,395
(うち基本財産への充当額)	(243,316,510)	(248,278,418)	△ 4,961,908
(うちトラストファンドへの充当額)	(23,286,600)	(23,632,087)	△ 345,487
(うち特定費用準備資金への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	9,314,048	14,273,853	△ 4,959,805
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うちトラストファンドへの充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定費用準備資金への充当額)	(4,313,084)	(6,521,998)	△ 2,208,914
正味財産合計	275,917,158	286,184,358	△ 10,267,200
負債及び正味財産合計	284,255,911	294,123,080	△ 9,867,169

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1 自然環境保全事業	公 2 緑の募金事業	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
Ⅰ. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	3,526,564	3,526,564
基本財産受取利息	0	0	0	0	3,526,564	3,526,564
特定資産運用益	48,400	0	0	48,400	0	48,400
特定資産受取利息	48,400	0	0	48,400	0	48,400
受取会費	1,048,000	0	0	1,048,000	0	1,048,000
会員受取会費	1,048,000	0	0	1,048,000	0	1,048,000
受取補助金等	23,185,300	50,000	0	23,235,300	0	23,235,300
受取国庫補助金	6,714,300	0	0	6,714,300	0	6,714,300
受取地方公共団体補助金	11,119,000	0	0	11,119,000	0	11,119,000
受取民間補助金	4,150,000	0	0	4,150,000	0	4,150,000
受取受託金	1,202,000	50,000	0	1,252,000	0	1,252,000
受取負担金	988,711	0	0	988,711	0	988,711
受取負担金	988,711	0	0	988,711	0	988,711
受取寄付金	3,054,396	16,230,675	0	19,285,071	0	19,285,071
受取寄付金	3,054,396	0	0	3,054,396	0	3,054,396
募金収益	0	16,230,675	0	16,230,675	0	16,230,675
雑収益	76,992	66,918	0	143,910	126	144,036
受取利息	0	11	0	11	126	137
雑収益	76,992	66,907	0	143,899	0	143,899
経常収益計	28,401,799	16,347,593	0	44,749,392	3,526,690	48,276,082
(2) 経常費用						
事業費	32,825,776	17,286,327	0	50,112,103		50,112,103
役員報酬	819,000	702,000	0	1,521,000		1,521,000
給料手当	11,500,060	3,491,748	0	14,991,808		14,991,808
福利厚生費	1,625,319	611,678	0	2,236,997		2,236,997
会議費	1,100	7,500	0	8,600		8,600
旅費交通費	1,876,418	256,940	0	2,133,358		2,133,358
通信運搬費	419,695	543,252	0	962,947		962,947
減価償却費	121,355	0	0	121,355		121,355
消耗品費	1,624,121	2,723,114	0	4,347,235		4,347,235
印刷製本費	488,885	236,789	0	725,674		725,674
燃料費	151,905	42,152	0	194,057		194,057
賃借料	3,261,879	908,040	0	4,169,919		4,169,919
保険料	625,046	7,254	0	632,300		632,300
使用料	578,048	124,330	0	702,378		702,378
委託費	5,775,985	502,738	0	6,278,723		6,278,723
募金事務費	0	145,159	0	145,159		145,159
諸謝金	1,821,022	154,000	0	1,975,022		1,975,022
支払負担金	1,288,040	180,080	0	1,468,120		1,468,120
支払助成金	547,000	2,654,731	0	3,201,731		3,201,731
支払手数料	242,390	166,648	0	409,038		409,038
緑化事業等交付金	0	3,825,374	0	3,825,374		3,825,374
光熱水費	6,538	0	0	6,538		6,538
租税公課	51,970	2,800	0	54,770		54,770

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1 自然環境保全事業	公 2 緑の募金事業	共 通	小 計		
管理費					3,123,784	3,123,784
役員報酬					919,000	919,000
給料手当					635,736	635,736
福利厚生費					258,399	258,399
旅費交通費					8,026	8,026
通信運搬費					44,428	44,428
消耗品費					84,959	84,959
印刷製本費					16,060	16,060
賃借料					297,180	297,180
保険料					44,000	44,000
使用料					485,672	485,672
委託費					132,000	132,000
支払負担金					72,011	72,011
支払手数料					126,313	126,313
経常費用計	32,825,776	17,286,327	0	50,112,103	3,123,784	53,235,887
評価損益等調整前当期経常増減額	▲4,423,977	▲938,734	0	▲5,362,711	402,906	▲4,959,805
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲4,423,977	▲938,734	0	▲5,362,711	402,906	▲4,959,805
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲4,423,977	▲938,734	0	▲5,362,711	402,906	▲4,959,805
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲4,423,977	▲938,734	0	▲5,362,711	402,906	▲4,959,805
一般正味財産期首残高	18,058,962	▲3,298,051	0	14,760,911	▲487,058	14,273,853
一般正味財産期末残高	13,634,985	▲4,236,785	0	9,398,200	▲84,152	9,314,048
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	230,473	0	0	230,473	0	230,473
基本財産評価損益	0	0	0	0	▲4,961,908	▲4,961,908
特定資産評価損益	▲575,960	0	0	▲575,960	0	▲575,960
当期指定正味財産増減額	▲345,487	0	0	▲345,487	▲4,961,908	▲5,307,395
指定正味財産期首残高	23,632,087	0	0	23,632,087	248,278,418	271,910,505
指定正味財産期末残高	23,286,600	0	0	23,286,600	243,316,510	266,603,110
III 正味財産期末残高	36,921,585	▲4,236,785	0	32,684,800	243,232,358	275,917,158

〈役員一覧〉

2024年6月末現在

会 長	石 井 実	大阪府立大学名誉教授 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長
理 事	小 笹 高 裕	大阪ガス株式会社 総務部管理チーム マネジャー
理 事	中 村 夏 美	大阪府生活協同組合連合会専務理事
理 事	平 井 規 央	大阪公立大学大学院農学研究科 緑地環境科学専攻 環境動物昆虫学研究グループ 教授
理 事	藤 原 宣 夫	大阪公立大学大学院農学研究科 緑地環境科学専攻 緑地保全学研究グループ 教授
理 事	前 迫 ゆ り	奈良佐保短期大学 教授・副学長
常務理事	長 井 聖 治	公益財団法人大阪みどりのトラスト協会 常務理事
監 事	鎌 田 邦 彦	弁護士法人第一法律事務所 弁護士・弁理士
監 事	松 本 勝 幸	松本公認会計士事務所 公認会計士・税理士

〈評議員一覧〉

2024年6月末現在

評 議 員	上 田 大 輔	大阪市建設局 公園緑化部長
評 議 員	栗 本 修 滋	大阪府森林組合 代表理事組合長
評 議 員	田 中 武 次	大阪府環境農林水産部 みどり推進室 室長
評 議 員	山 本 勝 利	大阪商工信用金庫 CSR推進室 室長

ANNUAL REPORT 2023

(みどりのトラスト 107号)

2023年度(2023.4-2024.3)事業報告

■ 表紙の絵

「見て!! 僕の宝物」

令和6年用

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

小学生の部 入選 国土緑化推進機構理事長賞

箕面市立西南小学校 4年(応募当時)

西尾 健成 さん

■ 発行:2024(令和6)年7月

法人名称 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

所在地 〒559-0034

大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 ATCビルITM棟11F西

TEL:06-6614-6688 / FAX:06-6614-6689

事業内容 1. 貴重な自然環境の保全及び生物多様性、里山の保全
2. 自然環境の保全、緑化に関する普及啓発及び調査研究
3. 緑の募金運動の推進
4. 森林環境教育・森林ESDの推進
5. 緑化事業、森林整備等への助成
6. ボランティアの育成、活動支援
7. CSR活動のサポート

設 立 1989(平成元)年11月1日

公益財団法人移行年月日:2012(平成24)年4月1日

みどりの未来をわたしたちの手で



<https://www.ogtrust.jp>